令和４年度

大田原市の家計簿

令和4年度の予算は、昨年度に引き続き、全ての事業について必要性や徹底した費用対効果を見極め、経費の削減を図ることを基本に、国の財源を活用しながら、新型コロナウイルス感染症への対策と地域経済や住民生活の支援策を講じることで、市民の皆様の不安を解消し、コロナ禍においても、安心した暮らしを送れることを目的とした『大田原安心予算』として編成を行いました。

「大田原市の家計簿」は、この令和4年度の予算をもとに、皆さんに納めていただく税金や国・県からの支出金が、どのように使われるのか、どのような仕事にどのくらいお金が必要なのか、また、市の借入金（市債）や預金（基金）はどのくらいあるのかなど、大田原市の財政状況をお知らせするものです。

【目　次】

1	令和4年度の市の予算	1
2	令和4年度の一般会計予算	2
3	市民1人当たりの予算	4
4	令和4年度予算にみる1人当たりの経費	5
5	主な事業の予算	7
6	基金の状況	8
7	市債の状況	9
8	市債の残高	10
9	公債費の状況	11

1　令和4年度の市の予算

(1)一般会計　　310億1,100万円

※ 皆さんからの税金を主な収入として市の大部分の仕事をまかなっています。

(2)特別会計　　158億270万円

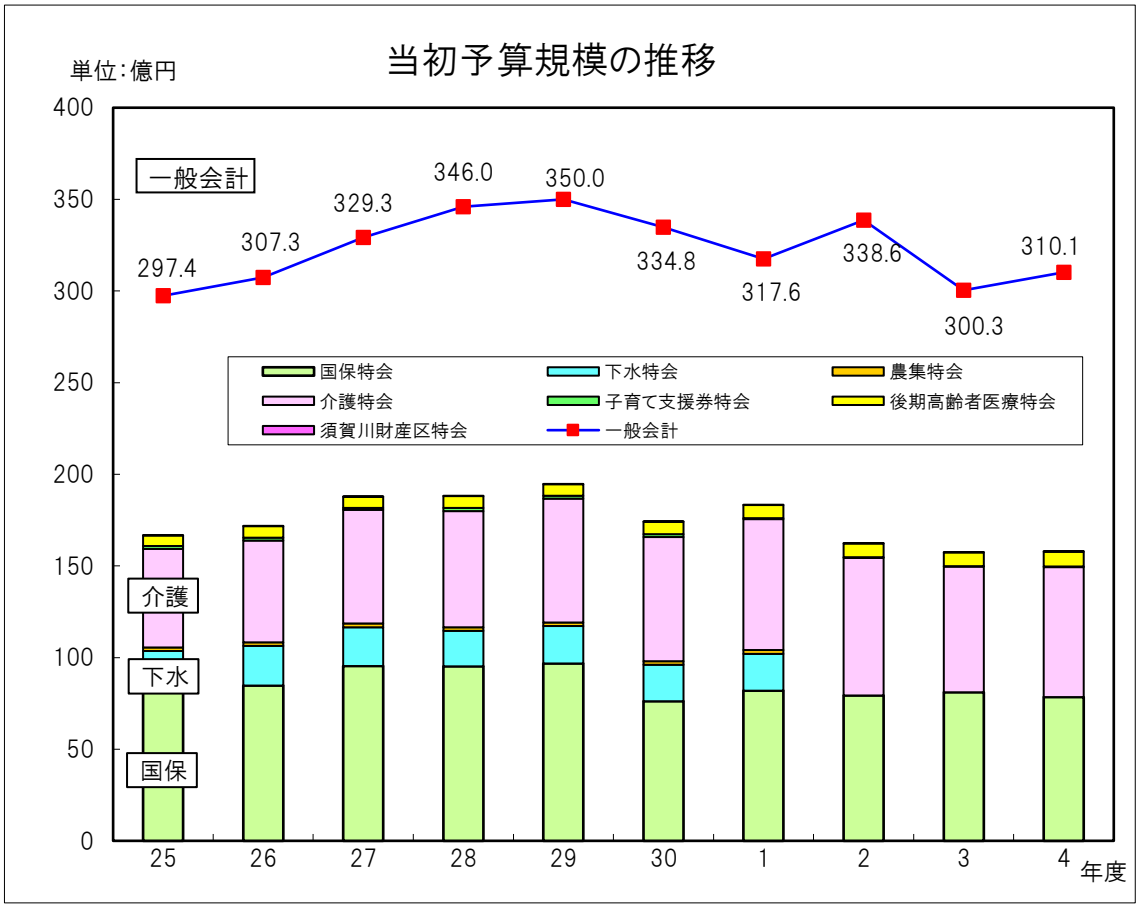
国民健康保険事業費	78億5,000万円
介護保険	70億9,200万円
子育て支援券	1,940万円
後期高齢者医療	8億1,630万円
須賀川財産区	2,500万円

※ 特定の収入で特定の事業をまかなっています。

(3)企業会計　　55億9,700万円

水道事業	25億7,900万円
下水道事業	30億1,800万円

※ 令和2年度から下水道事業、農業集落排水事業特別会計が企業会計に移行しました。

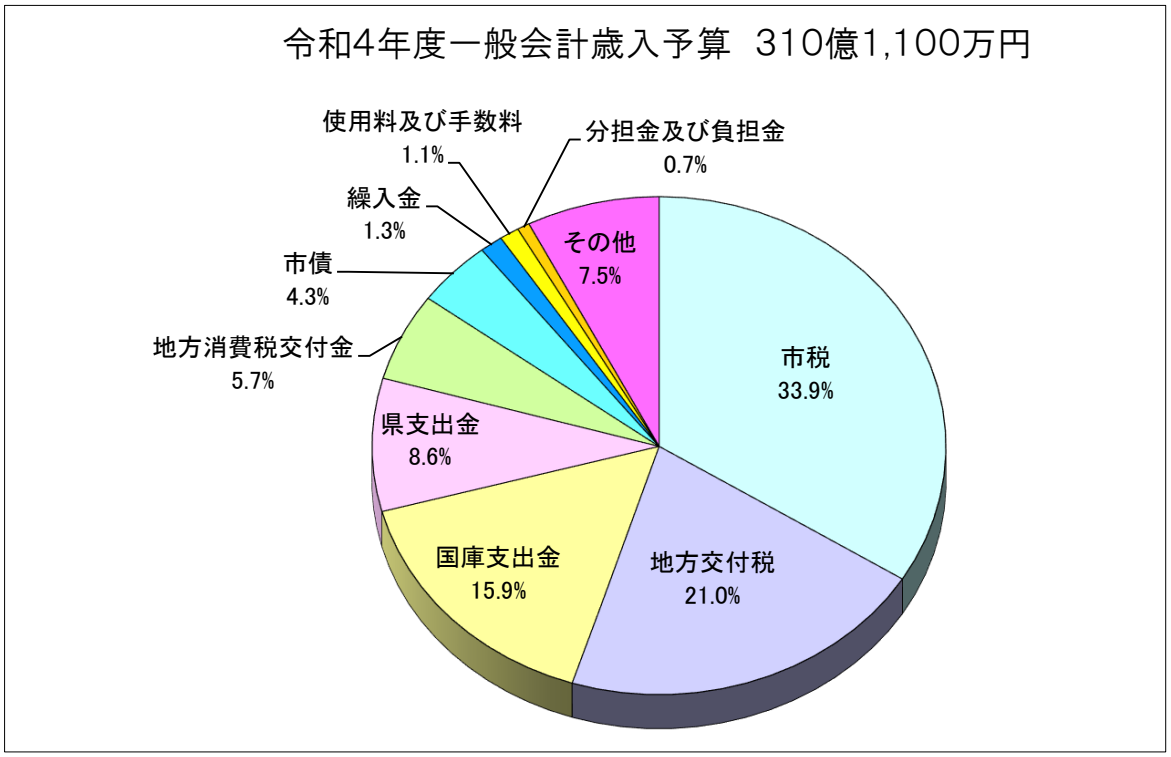


2　令和4年度の一般会計予算

一般会計には、市民の皆さんの日常生活に深く関わっている福祉、衛生、道路、教育などの仕事を行うための経費が計上されています。
令和4年度の予算は、310億1,100万円で、その内訳は以下のとおりです。

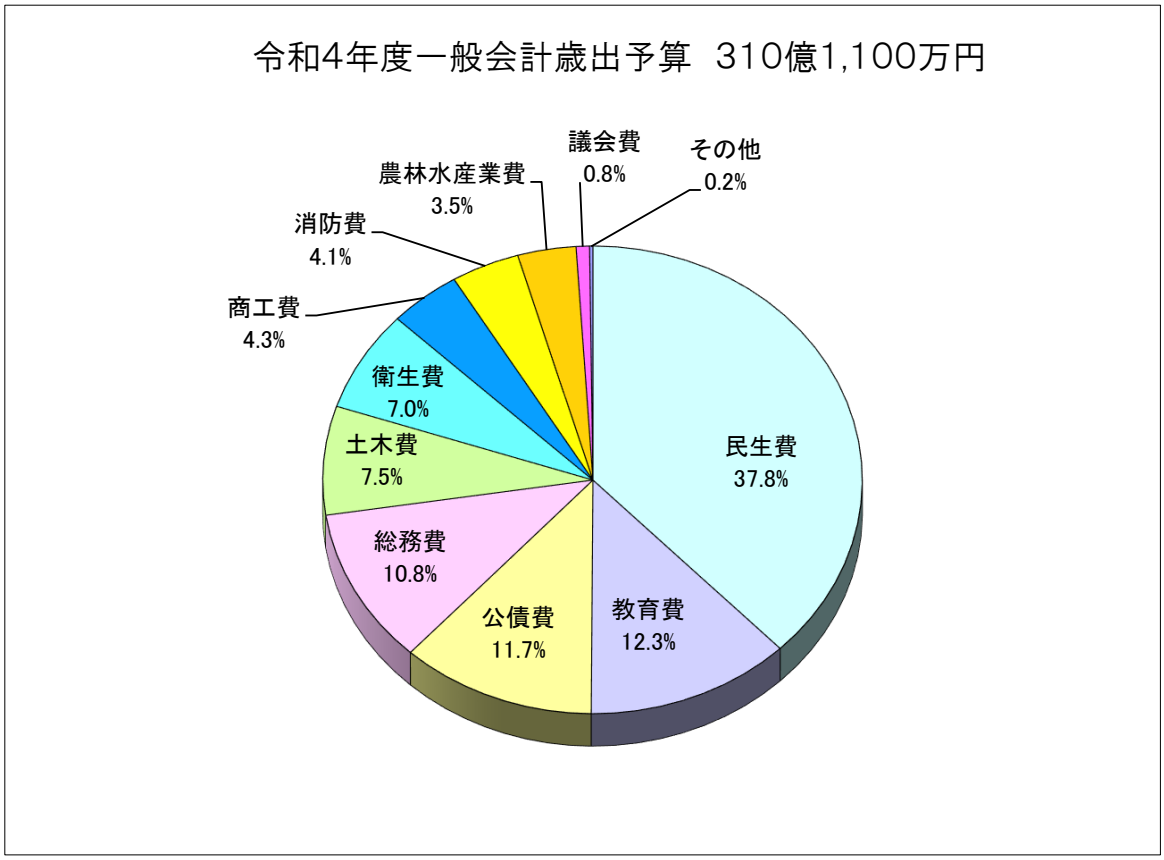
【歳入】

市　　税	105億63万円	皆さんに納めていただく市民税（個人及び法人分）や固定資産税、都市計画税などの税金です。
地方交付税	65億2,600万円	全国の市町村がひとしく事務ができるように、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、地方法人税）の一定割合が、市町村の財政状況に応じ交付されます。
国庫支出金	49億1,514万円	道路の整備や学校の建設、社会福祉などの特定の事業に対して、国から支出されるお金です。
県支出金	26億8,007万円	特定の事業に対し県から支出されるお金です。
地方消費税交付金	17億7,400万円	消費税10％の内2．2％が県の収入になり、その2分の1が市町村に交付されます。
市　　債	13億3,480万円	多額の資金を必要とする事業に対して、国や金融機関から借り入れるお金です。
繰入金	3億9,681万円	基金（預金）から一般会計に繰り入れるお金です。
使用料及び手数料	3億5,128万円	市営住宅などの使用料や住民票の交付手数料などです。
分担金及び負担金	2億2,782万円	他市町村からの負担金や、特定の事業の受益者から負担していただくお金です。
その他	23億445万円	繰越金や財産収入、ふるさと納税寄附金などのお金です。



【歳出】

民生費	117億2,581万円	高齢者や乳幼児、障害者などの援護や子育て支援のための経費です。
教育費	38億1,592万円	小・中学校の教育を充実させたり、文化・芸術、スポーツを盛んにしたりするための経費です。
公債費	36億1,812万円	学校や道路、市営住宅などを建設するために借りたお金を返済するための経費です。
総務費	33億4,438万円	市役所の全般的な仕事や選挙事務などの経費です。
土木費	23億3,038万円	道路や橋、河川、公園などの整備や維持管理を行うための経費です。
衛生費	21億7,570万円	皆さんの健康を守ったり、ごみやし尿を処理するための経費です。
商工費	13億3,907万円	商業や工業、観光などを推進するための経費です。
消防費	12億7,413万円	皆さんの生命や身体、財産を火災などの災害から守るための経費です。
農林水産業費	10億7,467万円	農業や畜産業、林業などを推進するための経費です。
議会費	2億6,529万円	議会の活動に要する経費です。
その他	4,753万円	労働費や災害復旧費などの経費です。



3　市民1人当たりの予算

一般会計の予算の総額310億1,100万円を、令和4年4月1日現在における住民基本台帳人口69,865人で除して、市民1人当たりの予算に換算すると44万3,870円になります。その使いみちの内訳は以下のとおりです。

【歳入】

市税	105億63万円	（1人当たり	15万299円）
市税以外のお金	205億1,037万円	（1人当たり	29万3,571円）

【歳出】

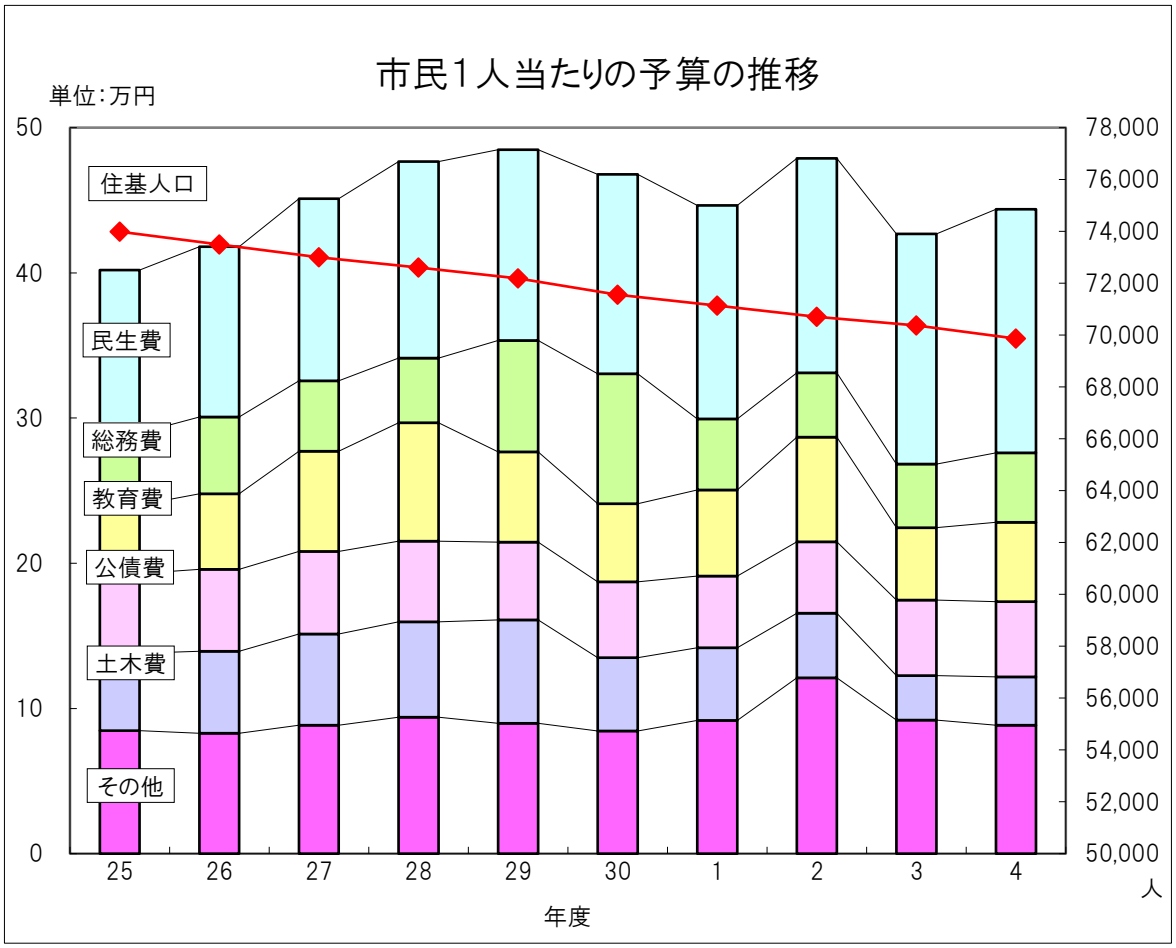
民生費	16万7,835円
教育費	5万4,618円
公債費	5万1,787円
総務費	4万7,869円
土木費	3万3,355円
衛生費	3万1,142円
商工費	1万9,167円
消防費	1万8,237円
農林水産業費	1万5,382円
その他	4,478円

1人当たりに使われるお金

44万3,870円

参考）

1人当たりの個人住民税	4万8,936円
1世帯当たりの市税	35万4,655円



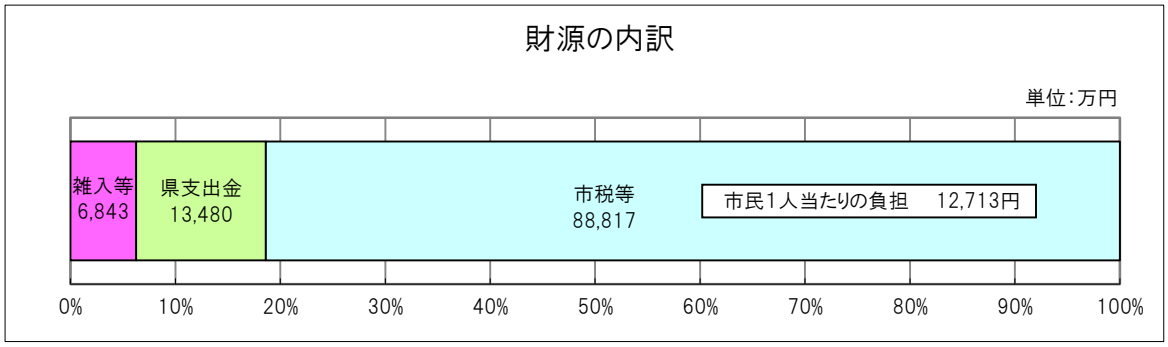
4　令和4年度予算にみる1人当たりの経費

一般会計の予算のうちで、高齢者、保育園児、健康診査、ごみ処理及び小中学校児童生徒に要する1人当たりの経費については、以下のとおりです。

(1)高齢者1人当たりの経費　　5万1,000円

老人福祉費　　10億9,140万円

65歳以上の人口　　21,400人
（令和4年4月1日現在）

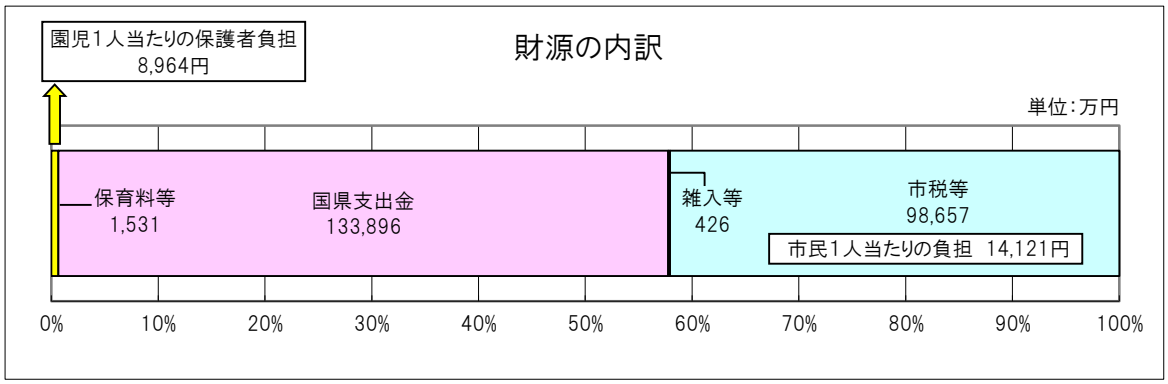


※ 介護保険に係る経費は含まれていません。

(2)保育園児1人当たりの経費　　137万3.009円

保育関係経費　23億4,510万円
（私立保育所運営費を含む）

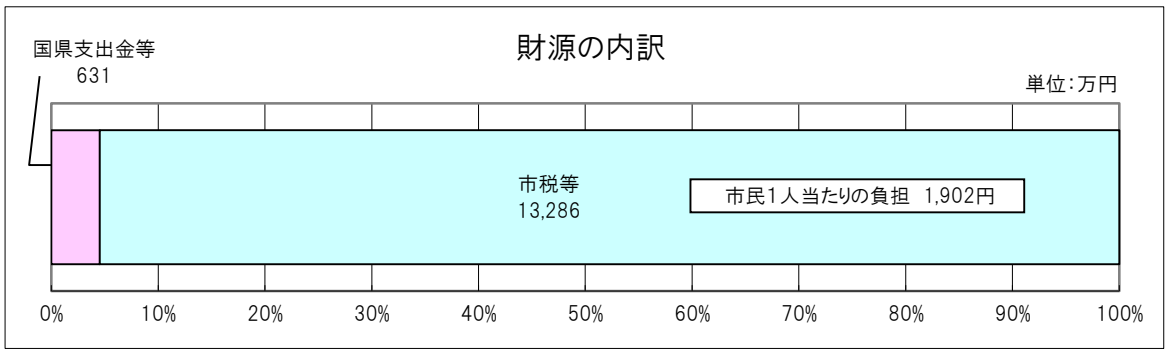
園児数　1,708人
（令和4年4月1日現在）



(3)健康診査に係る国民健康保険被保険者(40～74歳)1人当たりの経費　　1万252円

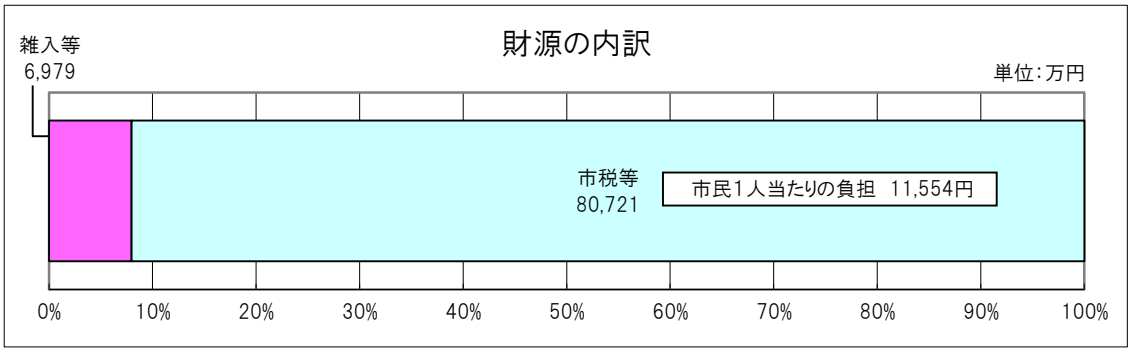
健康診査費　　1億3,917万円

40歳から74歳までの国民健康保険被保険者数
13,575人
（令和4年4月1日現在）



(4)ごみ処理に要する1人当たりの経費　　1万2,553円

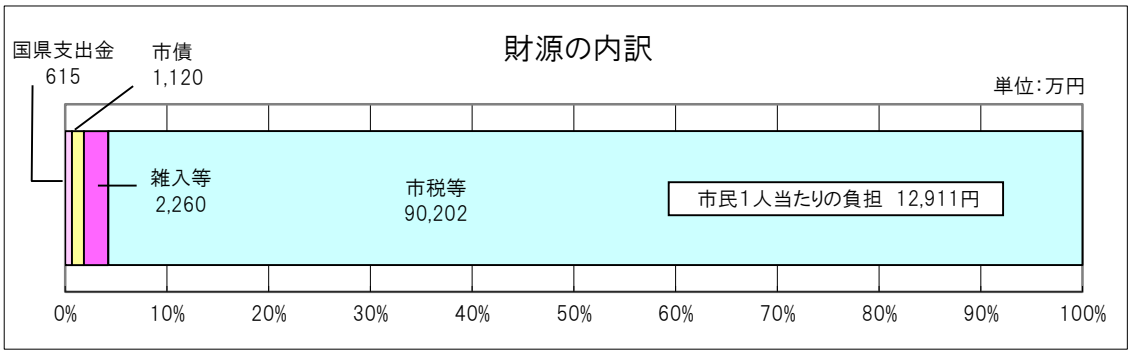
ごみ処理費　8億7,700万円　　人口　69,865人
（令和4年4月1日現在）



※ 広域クリーンセンター大田原、共同一般廃棄物最終処分場整備事業に係る経費を含んでいます。

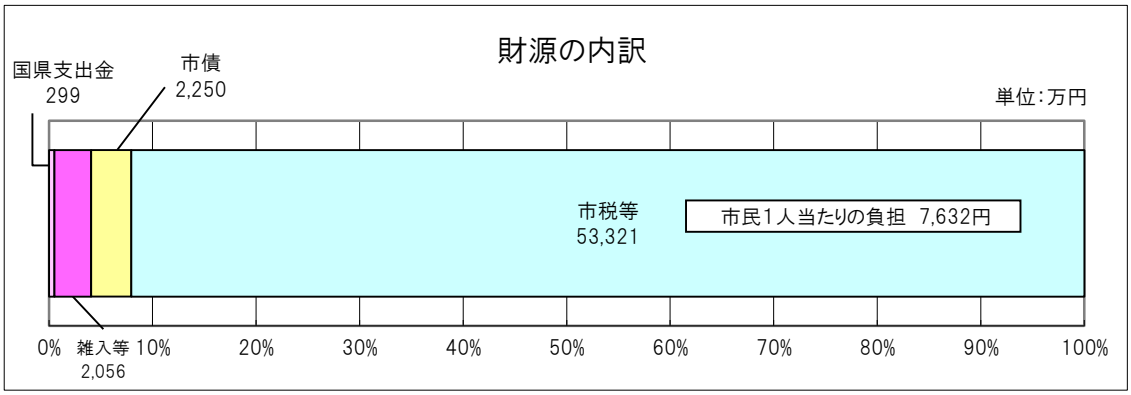
(5)小学生1人当たりの経費　　27万4,707円

小学校費　9億4,197万円　　小学校児童数　3,429人
（令和4年4月現在）



(6)中学生1人当たりの経費　　31万595円

中学校費　5億7,926万円　　中学校生徒数　1,865人
（令和4年4月現在）



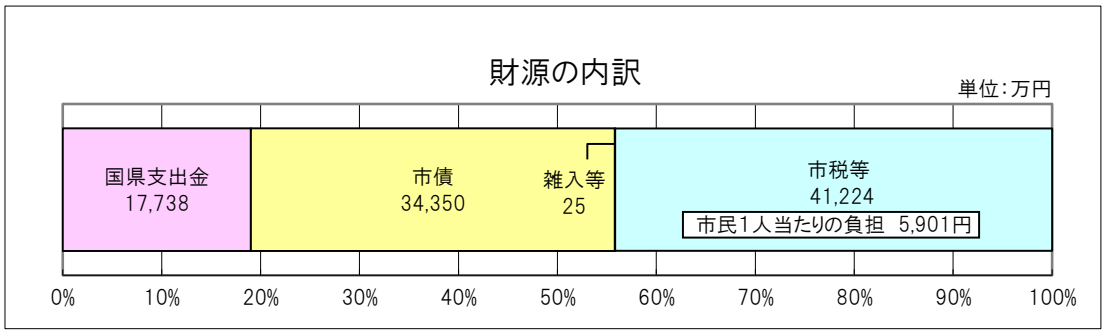
※ 大田原中学校校舎増改築事業に係る経費を含んでいます。

5　主な事業の予算

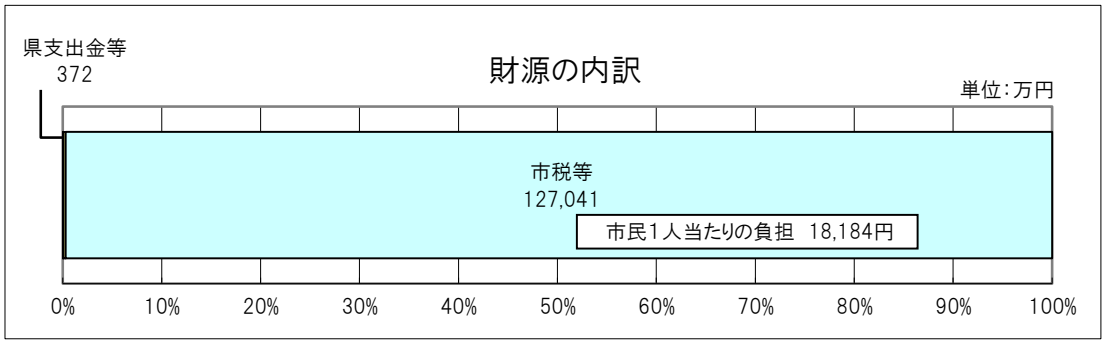
大田原市の予算のうちで、道路、消防、水道、下水道に係る予算及びその内訳については、以下のとおりです。

(1)道路　　道路関係予算額　　9億3,337万円

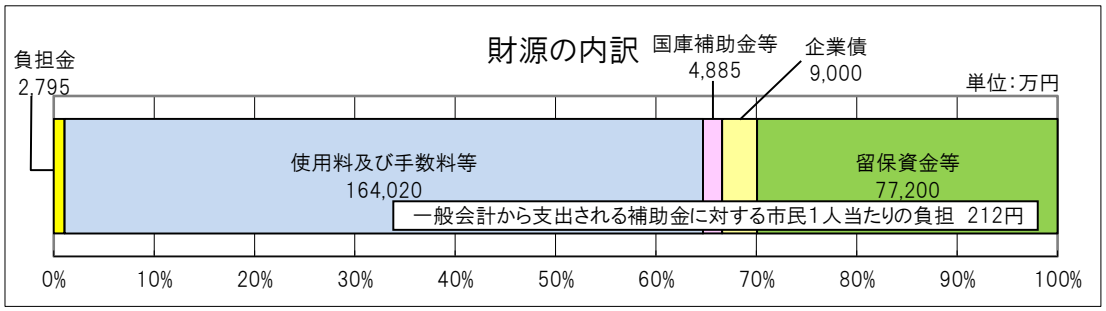
（内訳）	道路維持	3億8,201万円
	新設改良	2億7,591万円
	橋りょう維持	1億3,830万円
	街路	5,534万円
	総務費	8,181万円



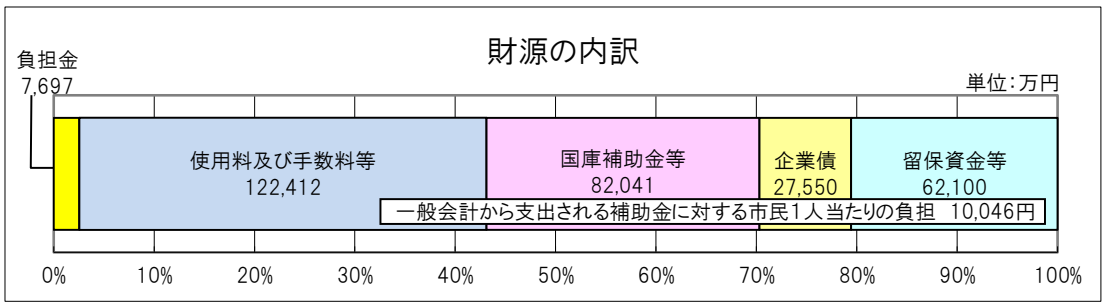
(2)消防　　消防費予算額　　12億7,413万円



(3)水道　　水道事業会計予算額　　25億7,900万円



(4)下水道　　下水道事業会計予算額　　30億1,800万円



6 基金の状況

基金とは、特定目的のために準備された元手となる資金で、この資金を元手に預金や投資等の運用で得た収益を活用しながら、必要に応じて積立てや取崩しを行う財産です。
大田原市には、令和4年4月1日現在で23の基金があり、その内容は以下のとおりです。

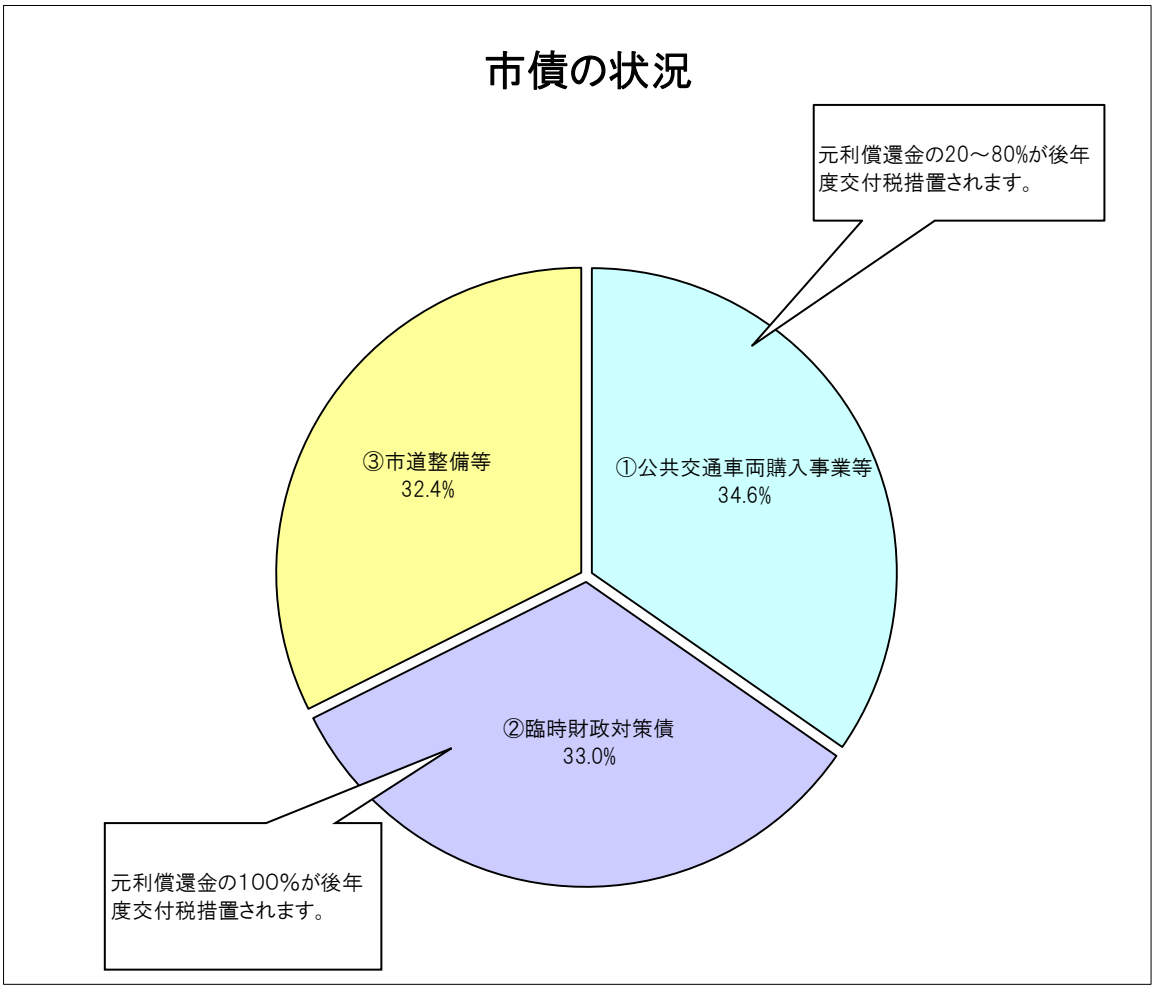
財政調整基金		13億1,372万円	年度間のお金の調整を行い、健全な財政運営を行うための基金
減債基金		3億5,491万円	市で借りたお金の返済を計画的に行うための基金
土地開発基金	現金 土地	1億6,995万円 87,964㎡	施設などを建設するための土地をあらかじめ購入することで、その事業を進めやすくするための基金
奨学基金		1億2,203万円	高校生や大学生に対して奨学金の貸し付けをするための基金
あすなろ基金		9,827万円	小学生や中学生の表彰と青少年の国内外の交流に関する事業を円滑に行うための基金
大学誘致基金		1,311万円	大学などの高等教育機関の誘致を進めるための基金
スクラム基金		6億2,167万円	高齢者などの生活を援助するための基金
スポーツ文化振興基金		2,179万円	皆さんのスポーツや芸術・文化を振興するための基金
子育て支援基金		503万円	明日を担う子どもを、安心して生み、健やかに育てるための基金
中山間地域農村環境保全基金		1,496万円	中山間地域の農村環境を形成する土地改良施設等の保全事業を実施するための基金
合併振興基金		1億4,140万円	合併後の市民の連帯の強化と地域の振興に必要な経費の財源に充てるための基金
国民健康保険財政調整基金		9億6,870万円	国民健康保険事業を適正に行うための基金
高額療養費資金貸付基金	現金 貸付金	903万円 97万円	一時期に多くの医療費を必要とする人に対して貸し付けをするための基金
介護保険財政調整基金		7億3,052万円	介護保険事業を健全に維持するための基金
高額介護サービス費貸付基金		100万円	多くの介護保険サービス費を必要とする人に対して貸付をするための基金
収入印紙等購入基金	現金 収入印紙等	223万円 177万円	収入印紙等を購入するための基金
公共施設整備等基金		4億5,785万円	公共施設の整備等に必要な経費の財源に充てるための基金
学校教育施設整備基金		495万円	学校教育施設の整備等に必要な経費の財源に充てるための基金
みどりと景観保全基金		306万円	豊かな自然環境や魅力的な景観を保全するための基金
結婚支援事業基金		412万円	地域活性化や定住促進などの観点から、独身男女の結婚を支援するための基金
森林環境譲与税基金		8,581万円	木材利用の普及啓発や森林の環境整備等に必要な経費の財源に充てるための基金
須賀川財産区財政調整基金		1,333万円	財産区の健全な財政運営を行うための基金
新型コロナウイルス感染症対策基金		3,626万円	新型コロナウイルス感染症の予防、市民生活の支援及び地域経済対策に必要な経費の財源に充てるための基金

※出納整理期間中(R4.4/1～5/31)に積み立てる予定のものを含んでいます。

7　市債の状況

市は、皆さんが納める税金を主な収入として、いろいろな仕事をしています。
そのなかで、学校や道路などは、皆さんの子どもの代まで利用できるものであり、その建設や工事にかかるお金も、それらを利用する住民の方にも負担していただくという考えで、一部に長期の借入れをしています。
この借入金を市債といい、令和4年度は一般会計で13億3,480万円です。
令和4年度の借入金を市民1人当たりに換算すると1万9,105円になりますが、国の財源不足を補てんするために市が借入れる臨時財政対策債4億4,000万円を除くと（後年度、普通交付税で全額措置されるため）、市民1人当たりの実質的な負担額は、1万2,808円となります。

① 市営バス購入事業債・道路メンテナンス事業債（橋りょう）等	4億6,270万円
② 臨時財政対策債（注）	4億4.000万円
③ 市道整備事業債・野崎駅東口整備事業債等	4億3.210万円

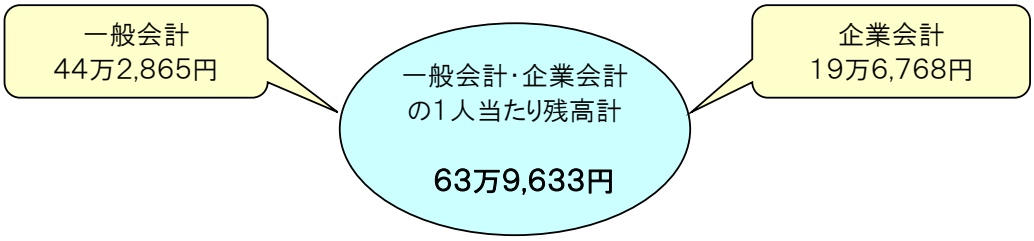


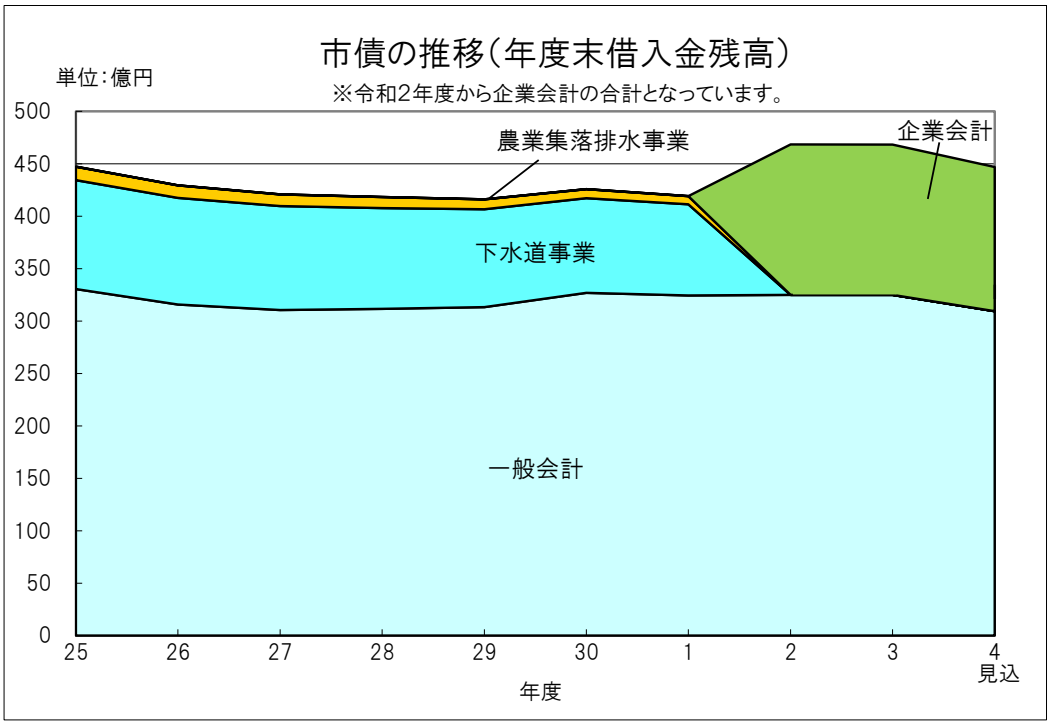
（注）国税収入の減少による普通交付税の財源不足額を、それぞれの自治体が借り入れ補てんするものであり、後年度普通交付税で全額措置されます。

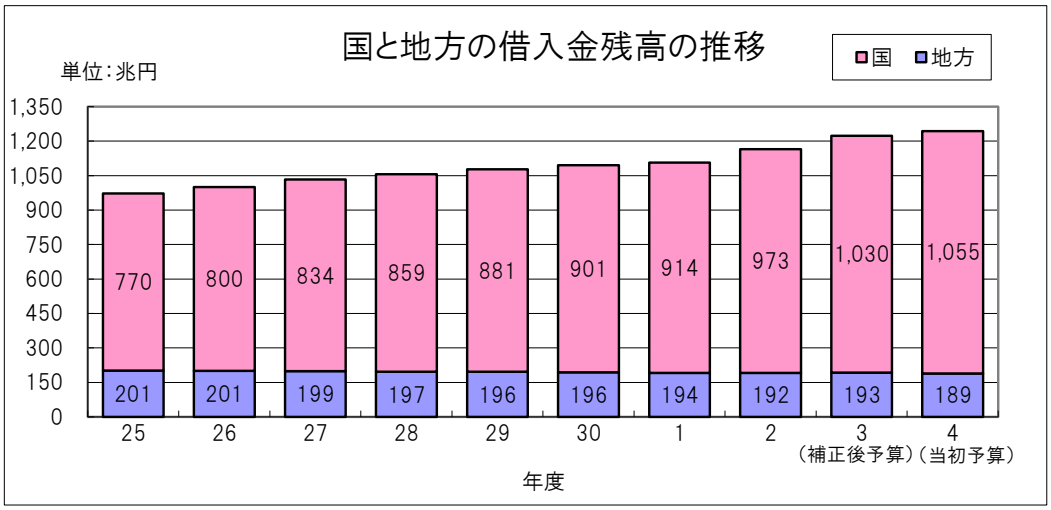
8　市債の残高

令和3年度末の一般会計における地方債の現在高は、309億4,076万円となる見込みであり、市民1人当たりに換算した額は44万2,865円となりますが、後年度普通交付税で全額措置される臨時財政対策債の残高を除くと、158億2,241万円となり、実質的な市民1人当たりの市債残高は、22万6,471円となります。

※令和2年度から一般会計と企業会計の1人当たりの地方債残高の合計







9　公債費の状況

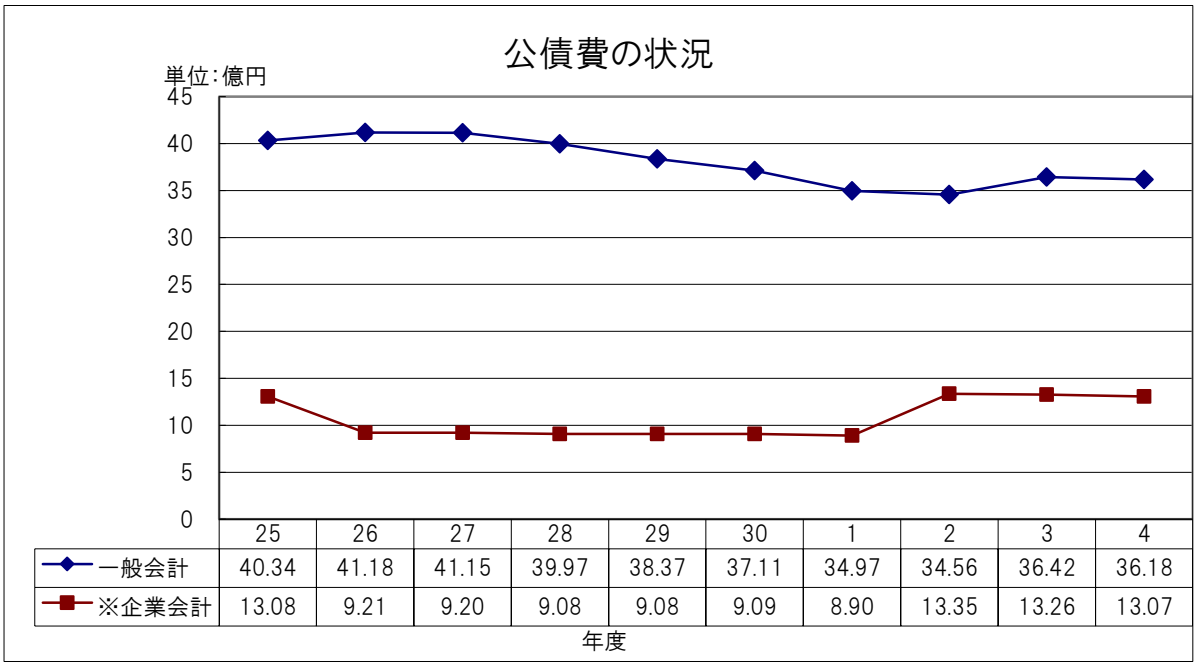
市債は、借入年度では収入ですが、将来に渡り元金に利息をつけて返済していかなければなりません。この市債（借入金）の返済金を公債費といいます。
令和4年度の一般会計公債費は、36億1,812万円で、市民1人当たりに換算した返済額は5万1,787円です。

一般会計
5万1,787円

一般会計・企業会計
の1人当たりの負担額

7万500円

企業会計
1万8,713円



	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4
一般会計	40.34	41.18	41.15	39.97	38.37	37.11	34.97	34.56	36.42	36.18
※企業会計	13.08	9.21	9.20	9.08	9.08	9.09	8.90	13.35	13.26	13.07

年度

平成25年度から令和2年度までは実績、令和3年度は決算見込、令和4年度は予算計上額です。
※令和2年度から下水道事業、農業集落排水事業特別会計が企業会計に移行しました。

与一の里
大田原

お問い合わせ先

大田原市経営管理部財政課財政係
℡0287-23-8797
E-mail zaisei@city.ohtawara.tochigi.jp